

project 01 | 幹線道路の整備



主要地方道 浜野四街道長沼線
(大井戸工区・橋梁架設工事)

「交通網を整備して
住みやすいまちづくりを」

幹線道路は、地域と地域を結び都市の骨格をなす重要な施設です。車や人の流れをスムーズにさせることで、医療施設・観光地等へのアクセス性の向上や、物流の効率化による地域経済の活性化など、生活の質的な向上に大きく貢献します。さらに、災害時には救急車や消防車を迅速に輸送し、避難においても重要な役割を担います。現状では、未だネットワークが繋がっていない路線があることから、計画的に整備を推進しています。



長年にわたる工事が完了して、開通した道路を通る地域の方々から「この道路が出来て良かった」と喜んでいる姿を見ると、大きな達成感とやりがいを感じます！

（平成30年度採用）
建設局 道路部
街路建設課
土木



工事現場の様子

技術が生み出す 千葉市の未来

市民生活に欠かせない生活基盤の整備から主要プロジェクト事業まで、千葉市の技術職はさまざまなフィールドで活躍しています。千葉市の技術職が活躍する4つの事業について、現場に携わる先輩職員が紹介します。

project 03 | 千葉公園の再整備



千葉公園のオガハスと緑打道

「魅力溢れる公園に
生まれかわるために」

千葉公園は市の中心部にあり、貴重な緑や水辺が残る本市を代表する総合公園です。現在、先行的に千葉競輪場と体育館の建替えを進めていますが、全体の再整備に向け、公園の将来像を描くマスタープランの策定に取り組んでいます。この事業は、公園にとどまらず、JR千葉駅北エリアの魅力を高め、まちの活性化につながるプロジェクトでもあります。また、施設整備だけではなく、ランドスケープの視点で空間をつくる園庭味がある事業です。

新しい施設、新たな賑わいが生まれ、公園が大きく変わっていきます。そのような中でも、市民の思い出の景色を大切にしながら、さらさらに残る風景が増える。そんな再整備にしたいと思います。

（平成19年度採用）
都市局 公園緑地部
緑政課
造園



サクラと緑打道



project 02 | 千葉駅西口地区の再開発事業



新たに複合ビル3棟を建設中
【平成32（2020）年3期完成予定】

平成25年に完成した
複合ビル3棟（ウェストリオ）

現在の千葉駅西口全体

「千葉市を象徴する
玄関口の巨大改革」

千葉駅西部では、JR千葉駅の駅舎・駅ビルの建替えや西口・東口地区の再開発事業など、次々と都市機能の刷新が行われています。その中で西口地区の再開発事業は、平成2年に事業計画が決定され、平成25年には複数の飲食店やコンビニエンスストア、ホテル等が入居する3棟の複合ビル「ウェストリオ」を完成させました。現在は新たに3棟のビルを建設しています。店舗・福祉スペースに、商業の他、居住・医療・スポーツクラブなどの多様な用途により、西口地区の更なる賑わいを目指しています。



完成イメージパース
（左から病院棟、公館棟、商業棟）

現在は主に屋上公園の設計について協議しています。海辺をモチーフに、園内には憩いの場としての機能と共に遊具を設けており、多世代の方が楽しい賑わい公園を計画しています。完成した際には是非足を運んでみてください！

（平成30年度採用）
都市局 都市部
都市開発課
土木



project 04 | 国際業務都市 「幕張新都心」のまちづくり



若葉住宅地地区完成予想イメージ

「先進的な未来都市の
構築を目指して」

幕張新都心は、未来型の国際業務都市を目指し、先進的なまちづくりが進められ、現在では日々約23万人が活躍する街となりました。近年では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定や新施設、設備、若葉住宅地地区の開発、ドローンや自動走行などの最先端技術を活用した事業実施など、「まち」の魅力や価値を一層高めるため、様々な取り組みを行っています。今後は、幕張新都心の持続的な発展とともにさらなる活性化を目指し、民間と行政の連携・協働によるまちづくりを進めていきます。

まちづくりに関する計画業務は、調整が多岐に渡り、難しさを感じることもありますが、幕張新都心の将来像を見据え、国際都市にふさわしい魅力あるまちづくりに関わる喜びと責任を感じ、業務に取り組んでいます。

（平成17年度採用）
総合政策局 総合政策部
幕張新都心課
土木



ドローン撮影風景映

